(

FD

Â . . ∩ d̯

≡ ⇔

إ

☼ ⊃ ♦ ☻ ▬ ℘ ♫ ☻ إ قي

فتح إ

fi ↑ ◦ ▬ ☿ إ لحي

ڤ fi ↑ ◦ ▬ ☿

fi ↑ ◦ ▬ ☿ إ

فتح فتح إ

ה ה ϟ ℘ ↑ ◦ ▬ ⊃ : خ

إ خ

ڠ

خ

ss

غمي

محم غمي محم

محم محم ה ϟ ℘ ↑ ◦ ▬ ⊃ : ה

fi ↑ ◦ ▬ ☿ إ

فتح فتح

i Ł خ ⊃ ₽ fi ω ▬ ♩ ☺ ϟ

خ ⊃ ₽ fi ω ▬ ♩ ☺ ϟ خ ⊃ ϟ ☺ ▬ ♩ ω fi ₽ ⊃

عمم ثم fi ↑ ◦ ⊃ ϟ ̣ fi طمي

SATO NET ω fi ₽ ⊃

ϟ ◦ ϟ

ϟ فتح ϟ ◦ ϟ ▬ ♩ ☺ ϟ

ϟ ◦ ϟ ϟ ◦ ϟ ▬ ♩ ☺

ϟ ◦ ϟ ب

ϟ ◦ ϟ ▬ ♩ ☺ ϟ

ה ה ♩ ⊃ ♃ ☻ ججز

ϟ ℘ ↑ ◦ ▬ ⊃ : خ

ڠ إ خ

FD

SATO NET
SDGs

			- -

			Jitka Čejková

第２節　総合科学推進プロジェクト(総合科学部における活動を含む)

１．総合科学研究科担当時期（平成 30 年度から令和元年度）

（１）概要

総合科学研究科では，平成 22 年度より，文系と理系にまたがる共同研究をはじめ，様々な形の総合科学的，学際的研究の推進を目的として，総合科学推進プロジェクト事業を実施している。当事業では，構成員が申請した研究計画調書を審査し，採択されたプロジェクトに上限 100 万円の助成を行ってきた。プロジェクトに応募できるのは，総合科学研究科所属の複数の教員となっており，構成員間の共同研究を促進する役割も果たしてきた。また，申請課題の審査には，研究科長室会議構成員の他，21 世紀科学プロジェクト委員会委員長が当たることとなっており，21 世紀科学プロジェクトとの連携が図られる仕組みが確立されていた。

（２）点検・評価

平成 30 年度は 6 件，令和元年度は 5 件のプロジェクトが採択されている（表 5-2)。研究代表者の所属講座を見ると，総合科学研究科に所属する，広い専門分野の教員から共同研究が立案実施されていることがわかる。他方で採択されたプロジェクトの研究課題名を見ると，隣接分野間での共同研究が多く，多彩な専門分野の教員を擁する総合科学研究科の共同研究プロジェクトとして，やや挑戦的な部分に欠けるところもあったといえる。隣接分野間での学際的共同研究も総合科学研究科の理念に即したものであり，大いに推奨されるべきであるが，同時に，文系と理系にまたがる共同研究など，より挑戦的な共同研究にも助成を行っていくことが課題となっていた。また研究科再編に伴い，21 世紀科学プロジェクト群の学生募集が停止され，21 世紀科学プロジェクトが担っていた教育的役割が失われていくことが懸念されるなかで，総合科学部がひき継いで実施することとなった総合科学推進プロジェクトを，大学院・学部の教育といかに連携させていくかが，新たな課題として浮上した。

２．総合科学部への移行後（令和 2 年度から令和 3 年度）

（１）現状の説明

令和 2 年度の大学院再編にともない，それまで総合科学研究科のもとで実施されてきた本プロジェクトは，総合科学部へと移行し，実施要領を一部変更した上で引き続き実施されている。実施要領のおもな変更点は以下の通りである。

- 研究組織には，総合科学部以外の部局や他大学等の教員・研究者を含めることができるほか，大学院生，研究生，学部生等を研究協力者とすることができる。
- 研究成果は，総合科学部の FD 研修会で発表するとともに，総合科学科 1 年次生向け必修科目「総合科学へのいざない」（第 2 ターム）において，総合科学の実践例として紹介する。
- 研究成果は，学会発表や論文投稿等により公表することを推奨する。

令和 2 年，令和 3 年ともに，それぞれ 4 件のプロジェクトが採択された。

（２）概要

令和 2 年度研究課題

「スポーツオノマトペの音声学」（研究代表　進矢正宏）

「『遊び心』をコンセプトにした新しいスポーツの創作」（研究代表　田中亮）

「地域の自然資源に関する社会-自然環境関連アプローチの構築–呉市大崎下島久比地区の地下水資源の汚染状況に関する分離融合型共同調査」

（研究代表　長坂格）

「材料から生命まで：ソフトマターサイエンスからの総合理解」

（研究代表　ヴィレヌーヴ真澄美）

令和 3 年度研究会課題

「適温冷却が身体のコンディション及びリカバリー機能に及ぼす影響」

（研究代表　長谷川博）

「アジアのなかの広島と長崎：冷戦と平和に関する総合考察へむけて」

（研究代表　水羽信男）

「文理融合型調査による社会-自然環境関連アプローチの構築–呉市大崎下島久比地区の地下水資源の汚染状況に関する分離融合型共同調査（２）」

（研究代表　長坂格）

「哺乳類モデル動物における新規脳因子の脂肪蓄積・運動・筋肉への影響」

（研究代表　浮穴和義）

（３）点検・評価

本プロジェクトに採択された研究課題は，総合科学部が求める学際性を有しており，1 年間という限られた期間内で一定の研究成果をあげている。また，研究をさらに発展させるために継続申請するプロジェクトもある。

研究成果は，採択された年度の 3 月以降に開催される総合科学部 FD 研修会において報告されるほか，令和 2 年度からは，学科 1 年次生向け必修科目「総合科学へのいざない」において，すべてのプロジェクトの研究代表者が「総合科学」の実践例としてそれぞれの研究を紹介している。同授業の受講生からは，総合科学的な研究というものを具体的に知ることのできる発表であったとのコメントがよせられた。本プロジェクトは，総合科学部の授業で紹介されるほか，大学院生や学部生を研究協力者とするなど，研究と教育とを結びつける役割を果たしている。

さらに，本プロジェクトにおいて得られた研究成果の一部は，学会報告や学術論文として発表されている。

5-2

30

№			
1			
2			
3			
4			
5	Quantification of Speech-gesture Coupling and Haptic Techniques for Teaching English		
6			

31

№			
1	Speech-gesture coupling		
2			
3			
4	— —		
5			

2

№			
1			
2			
3	—		
4			

3

№			
1			
2			
3	—		
4			

.

∏ ™ — 3 — ₆ ₈ ₉ ₈ ₉ ₈ ₉ ╫ Δ ╖ ₈ إ │ ╖ Δ ╖ ⅛ ⇔ ↕ ╢ ╖ ⅞ ╖ / ╖ · ╖ — 11 ╢ ╖ ⅛ ≡ ╖ ⅛ ╖ ⅞ ≡ ⇔ ⅝ √ ₆ ╕ √ ي — │ ╖ / ╖ · ╖ — ث ╕ ╢ ╖ √ ⅔ ↑ ╖ ⅞ ⇔ ⅝ √ ₆ ╜ ╖ ▼ ☺ ╙ ╖ ق 21 ≥ ╙ — س │ ╖ e ╖ — ╖ ↕ ╖ ₆

إ ╜ — / ╜ — ≥ ╙ ه ╖ Δ ╖ √ ╘ ╖ ه ╖ ♠ כ w ☻ قي ه

⌂ ≥ — ه إ ╙ ⇔ ئو ₈ إ ≥ ي ⅛ ₆ ≥ e ™ ╙ ₆ Δ ╖ ╙

غ ⌂ ≥ — ه ╙ ╖

╖ Δ ╖ √ ╘ ╖ — ╙ ≡ ⇔ ╖ / ╙ ⇔ تي ╖ ╙ ∂ ≡ خ ⅞ غ ╖ ف ╙ ☻ ⁱ ⇔ ₈ إ ≥ — ⅞ ⅝ ₆ ═ ╖ № ╖ ™ ⅛ │ ╙ Δ ╖ ₆

ш ≥ ╙ ≡ ⇔ ≥ ₈ ₆ ≥ ₈ ₆

		0	0	19	20	2	0
		0	0	12	10	4	3
		4	4	4	18	4	0
		7	6	59	70	16	12
		6	5	6	8	2	6
		8	7	13	11	8	5
		14	12	19	19	10	11
		39	32	163	185	43	42

1. 2.

3.

5-3-2 5-3-4

6

2 4

5-3-2

	30		31	
	1	0	2	0
	1	1	2	0

5-3-3

30		12th International Conference on Ceramic Materials and Components for Energy and Environmental Applications Poster Winner
		12
		12
	1	25
		2018

		2018
		29
		ICT 2018
		ICT 2018
31		SMEC Poster Prize 2019
	3	
		14
		14
		60
	1	

5-3-4

(1) 30

	0	0	5	9	0	0
	2	2	26	2	14	2
	40	20	17	9	24	12
	16	3	16	15	7	9
	58	25	64	35	45	23

2

( ) 1

2

17

5

(2) 31

	0	0	5	14	0	0
	5	1	22	3	12	2
	46	15	18	9	21	15
	19	5	12	13	10	10
	70	21	57	39	43	27

1

( ) 1

2

20

6

ゟ " g

5-3-4

5-3-5-1　　5-3-5-2

5-3-5-1

		30	31,
		8	5
		6	0
		2	1
		0	2
		13	14
		29	22
		7	4
		10	7
		2	2
		4	2
		23	15
		1	3
		10	3
		63	6
		42	43

5-3-5-2　　(　　)

		30	31,
		1	1
		9	18
		10	15
		4	2
		5	0
		29	36
		2	3
		2	1
		0	1
		4	1
		8	6
		2	1

		1	0
		3	1
		35	39

.

5-3-6

2 100

5-3-6

	30			31		
			( )			( )
	9	1	3,000	7	1	1,500
S	1	0	0	1	0	0
A	6	1	18,994	5	2	8,750
B	19	8	26,426	14	8	29,503
C	72	47	49,182	73	51	52,649
	14	3	5,871	11	1	3,781
	0	0	0	1	0	
A	2	2	11,200	2	2	4,943
B	4	5	6,220	4	4	4,706
	8	5	8,600	8	6	10,800
	135	72	129,493	126	75	116,632
	52.6			57.1		
	53.0			55.3		
	49.0			51.8		
	2	3	14,333	2	2	7,527
B	5	0	0	1	1	2,350
	0	1	400	0	1	1,100
( )	0	0	0	0	0	0
	1	1	500	3	3	1,300
	0	0	1,600	0	0	0

	143	77	146,326	132	82	128,909

5-3-7　5-3-9

5-3-7　5-3-9

5-3-7

	30		31	
	14	25,010	6	11,540
	-	-	-	-
	9	12,017	10	13,381
	-	-	-	-
	-	-	1	22
	3	815	1	500
	26	37,842	18	25,443

	-	-	-	-
	12	11,289	9	4,985